

2025年4月17日

作品制作を通じて、社会問題を考える AC ジャパン広告学生賞 17年連続受賞！

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）社会学部では、制作活動を通じて社会問題への関心を深め、自らの知見や主張を積極的に発信する「社会実践プロジェクト」を実施しています。取り組みの一環として、「AC ジャパン広告学生賞」（公益社団法人 AC ジャパン主催）へ毎年出品しています。2024年度はテレビ CM 部門で 2 作品が優秀賞を受賞しました。今回で 17 年連続の受賞となります。

第 21 回「AC ジャパン広告学生賞」受賞作品

■テレビ CM 部門（応募作品総数 330 作品）

【優秀賞】

作品名：『性被害』

テーマ：性被害

制作スタッフ：吉田 颯太、大石 湧人、浅野 七虹
/社会学部メディア社会学科 2 年(受賞当時)

受賞コメント

この作品は性被害を服装という観点から取り上げ、制作したものです。性被害に対する世の中の人々の固定観念を覆したかったです。社会で起きている性被害を俯瞰して見たときに、どんなシチュエーションで、どんな服がリアリティがあるかを一つ一つ考えて制作しました。性被害の被害者になるのは露出度の高い服装をした女性だけでなく、露出度の低い服装の人や男性も被害者になるということをこの作品を見て知ってもらえたらと思います。

（代表：吉田颯太）



【優秀賞】

作品名：『防ごうイヤホン難聴』

テーマ：若者の難聴

制作スタッフ：萱山 愛梨、檜枝 かな実、鈴木 匠
/社会学部メディア社会学科 2 年(受賞当時)

受賞コメント

私たちは、“若者がイヤホンによって難聴になるリスクがある”というファクトに注目して CM を制作しました。通学時や昼食中にイヤホンをつけている学生をよく見るため、日常的にイヤホンを使用しているシーンを再現し、実は取り返しがつかない障害が残るリスクがあることを伝えています。これを見た人が、自分の行動を振り返り、改善するきっかけになったら嬉しいです。

（代表：萱山愛梨）



—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 担当：増田・五月女（ますだ・そうとめ）
TEL：03-5984-3813 E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開校され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

2027年4月には、データサイエンス系の新専攻として「情報社会デザイン専攻」と「ビジネスデータサイエンス専攻」設置を予定している。

建学の三理想

1. 東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物
2. 世界に雄飛するにたえる人物
3. 自ら調べ自ら考える力ある人物

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1